

# キマダラモドキ

*Kirinia fentoni*

兵庫県：B

環境省：準絶滅危惧 (NT)

## 種の概要

前翅長28～36mm程度。翅の表面は暗褐色で、裏面の地色は黄褐色。後翅裏面には黄色く縁取られた黒色の眼状紋を持つ。低山地の雑木林の林縁や疎林に生息し、幼虫はススキ、チガヤなどを食べる。年1化性で、成虫は6月～8月に見られる。



写真提供：刈田悟史

## 国内分布

北海道、本州、四国、九州

## 県内分布記録

川西市、猪名川町、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、上郡町、佐用町

## 選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○		○		

## 特記事項

旧14市町で51箇所の記録があるが、2000代に記録があるのは7市町14箇所である。落葉広葉樹の明るい二次林の林縁部のススキなどのイネ科植物の生える草地環境が常緑樹の成長で暗くなり、生息環境が孤立化した。

## 保護上の留意点